

「議会報告会2024」 質疑・意見一覧

整理 番号	質疑・意見	回答	委員会
1	人口減少と今後の税収見込みについて。	<p>西尾市の総人口は、令和6年（2024年）4月1日時点で169,922人となっており、平成31年（2019年）をピークに減少傾向となっています。</p> <p>市税収入は、住民税では製造業を中心とした賃上げや上場する製造業での決算における純利益が過去最高となるなど、固定資産税では駿馬瀬戸地区工業用地の供用開始など、税収増を予感させる明るい材料はあるものの、現在の物価上昇や不透明な社会情勢を勘案すると、大幅な税収増は見込めないものと考えております。</p>	企画総務
2	市民病院の今後の運営と収支予定について。	<p>実質24年連続の赤字経営となっており、毎年、西尾市一般会計から病院事業会計へ約20億円を繰入金としているため、市民の皆さんに経営や今後の運営について指摘及び心配の声をいただいています。現時点において、地域医療を守るため、西尾市と西尾市議会は市民病院の必要性を共有しています。</p> <p>総務省の「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、令和5年3月に西尾市民病院経営強化プラン(令和5年度～令和9年度)の策定をし、経営改革に取り組んでいます。経営改善には医師不足の解決が最重要課題となっており、市長や病院長が大学医局等を訪問して医師派遣を要請しています。また、奨学金制度による医師確保の施策にも取り組んでいます。経営改善には引き続き重要課題と考えています。</p> <p>市議会として、現市民病院は平成元年に開院して築35年が経過して老朽化も著しいため、地域医療を守るための将来の経営形態を含めて検討を始めていかなければいけないと考えています。市民の皆さんの声を聞いて持続可能な病院形態や運営も協議をしていきます。</p>	厚生環境
3	教育の場での遊び、安らぎ、集いを具体的にどのようにするのか。	<p>教育の場での遊び、安らぎ、集いについてのご質問にお答えいたします。</p> <p>遊び：子供たちが友達と関わり、好奇心を育むために、小学校では長めの休み時間を設定し、自由に遊ぶ時間を提供しています。授業でも、遊びを取り入れた題材で学ぶことがあります。</p> <p>安らぎ：子供たちが安心して学校に通えるように、事故や災害への対応だけでなく、憩いの場の提供、人間関係のサポート、いじめの防止などに力を入れています。</p> <p>集い：学校生活全般で、さまざまな活動を通じて協調性や自主性を育てています。話し合いや共同作業を通じて、社会で役立つ力を身につけることを目指しています。</p> <p>これらの取り組みは、子供たちの成長に合わせて各学校で工夫されています。引き続き、皆さまのご意見を参考にしながら、子供たちが安心して学び、成長できる環境を整えられるよう、議会としても市に働きかけてまいります。</p>	文教交流

「議会報告会2024」 質疑・意見一覧

整理 番号	質疑・意見	回答	委員会
4	下水道の切替え計画について。	<p>ご質問は、南海トラフ巨大地震が危惧されており、老朽化した水道管を更新するなど耐震化を進める必要があり、その取り替え計画はどのようなか、との趣旨と思います。</p> <p>令和4年度末時点の水道管の約1/4が法定耐用年数を超えた老朽管となっています。市は地震に強く、安全で安定した水道水を供給していくためには、計画的に順次改修・更新していかなければならないとしています。そのためには財源確保が必要であり、今後は水道料金の在り方について議論していくこととなります。</p> <p>また、市は下水道についても、調査によって著しい腐食が見られる箇所を中心に順次改修・更新を行っております。</p>	経済建設
5	名鉄との対話の状況について。	<p>名鉄西尾・蒲郡線は、令和7年度まで存続が決まっていますが、令和8年度以降は白紙の状況です。市では名鉄西尾・蒲郡線応援団をはじめ地域の関係者と連携し、鉄道存続に向けて沿線となる蒲郡市と共同し問題解決に取り組んでいきます。対話の状況としては、西尾市、蒲郡市、国、愛知県、及び名鉄が一堂に会し、毎月、この問題に対し対話(検討)を行っております。</p>	経済建設
6	広域ごみ処理施設の安全性の確認について。	<p>安全性の確認についての質問であります。西尾市ホームページにおいて、「広域ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書及び都市計画の案」を公表しています。今年3月5日～4月5日まで縦覧を実施しています。また、3月21日に西尾市クリーンセンター、3月24日に市役所で説明会を開催しています。公害防止に関する自主規制値を遵守するとともに、適切な環境保全措置を実施することにより、本事業による周辺環境への影響は小さいと判断されています。</p>	厚生環境
7	シニア世代の健康維持のための予定は？生涯学習にシニア、シルバー世代はどのように組み込まれていますか。	<p>生涯学習に関し、生きがいくくりや新たな学びのきっかけづくりの場として、シニアを対象とした脳トレやパソコンの操作方法、健康体操など、様々な生涯学習講座を実施しており、議会としても充足していると考えます。</p>	文教交流
8	<p>財政について</p> <p>市債が増えたと聞きました。将来の主権者である子どもたちが将来を力強く生き抜くためには、その時に直面する問題に対応するための財力が必要で。そのために今、例えば家庭ごみの収集有料化も一つ検討していただきたいと思います。ごみをたくさん出した人にたくさん税金が使われている状況をなんとかできないでしょうか。財政の改善につながると思います。</p>	<p>家庭ごみの収集有料化とは、燃えるごみなどを排出する際のごみ指定袋の価格にごみ処理費用の一部を上乗せして販売していくことと思料します。</p> <p>家庭ごみの収集有料化は、ごみ処理費用の財源確保やごみ排出量に応じた負担の公平性、再生利用の促進等の観点において非常に有効となるものの、現状においては西尾市クリーンセンターへ搬入される多量ごみについては手数料を徴収していることや市民の経済的負担の増大などから、まずは当面、ごみ排出量削減に向けた啓発活動に取り組み、家庭ごみの収集有料化は時間をかけて議論すべき中長期的な課題であると認識しています。</p>	企画総務

「議会報告会2024」 質疑・意見一覧

整理番号	質疑・意見	回答	委員会
9	子育てについて（生涯学習センターに関連した整備） 西尾公園、西尾歴史公園で遊ぶ子どもたちが少ないように感じます。先日、大垣城公園に行った時、子ども向けに遊具の無料貸し出しを行っていました。西尾公園を子どもたちの集まる公園に、活気ある公園にしてほしいと思います。地理的にもよい公園です。ぜひ検討してほしいと思います。	西尾公園内に建設を予定している「生涯学習センター（仮称）」には子どもたちがわくわくする空間、のびのびできる空間として子ども遊び場を整備し、遊具等を設置する予定です。いただいたご意見については、今後施設の運営内容を検討していく際に参考とするよう、市に問いかけてまいります。	文教交流
10	小学校のクラブ活動の廃止について。 孫が花ノ木小学校に通っていますが、近い将来クラブ活動廃止と聞きました。サタデープランというのがあるようですが、その他代替策はどのようなものがあるのでしょうか。	小学校の部活動につきましては、学習指導要領への位置づけはなく、教員の自発的な教育活動として行われてきましたが、近隣市町の状況、教員の働き方改革の観点から、令和8年度から廃止する計画です。 にしおチャレンジみらい塾（令和4年度までサタデープラン）以外の代替策としましては、スポーツ協会加盟団体や総合型スポーツクラブが小学生向けのスポーツ教室を実施しています。 詳細は下記を参照してください。 （西尾市スポーツ協会 https://nishio-sport.jp/ ） （つるしろスポーツクラブ http://www.katch.ne.jp/~tsurushiro-sc/ ） （スポーツクラブいっしき http://www.katch.ne.jp/~sports-club-i/ ） 文教交流委員会としましては、皆様からのご意見を伺いながら、子どもたちにとってより良い教育環境を整えてまいります。	文教交流
11	ごみ処理場の拡張について。 幸田町や岡崎市の処理も負担する必要があるのでしょうか。ただでさえ、町内のごみ問題が大変です。騒音や環境問題（空気汚染）、交通問題が心配。	愛知県が策定した「第2次愛知県ごみ焼却処理広域化計画」に基づき、岡崎西尾地域広域化ブロックとして、岡崎市と西尾市、幸田町の2市1町で新たなごみ焼却施設を建設することとなりました。施設の概要では、処理能力は1日当たり266トンで24時間運転。処理対象ごみは可燃ごみ、破碎選別可燃残渣、し尿汚泥、災害廃棄物としています。煙突高さは59メートル。稼働は令和12年度を予定しています。 西尾市公式ホームページで事業内容等は紹介されています。	厚生環境
12	終活の支援制度を創設してほしい。	担当する長寿課に確認したところ、西尾市においては令和3年に明治安田生命が展開する「地元の元気プロジェクト」という社会貢献活動の一環で地元応援の寄付をいただき、在宅医療介護連携推進事業として、オリジナルの「エンディングノート」を作成して希望者に配布しています。配布先は公共施設や医療介護事業所、市役所窓口で、西尾市の公式ホームページからも印刷ができます。 また、終活支援としては、生涯学習出前講座や地域包括支援センターでの講座を開催しております。 市議会としては、支援制度の創設につきまして、市民要望も踏まえたくえで検討をしていきたいと考えています。	厚生環境

「議会報告会2024」 質疑・意見一覧

整理 番号	質疑・意見	回答	委員会
13	<p>小学校のプール新設について。 問題点が多くあると感じたが、地元市民・児童の親などは賛成しているのか？その他に代替案はどのような物があるか（プールの建設以外も考えられないか？）</p>	<p>児童の保護者や地元市民などの賛同状況についてお知らせいたします。 児童の保護者などについては、モデル校として温水プールを先行実施した3校に対し、令和4年度に実施されたアンケート結果によりますと、温水プールを利用した水泳授業に関する意見は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 温水プールを利用した小学校3校の高学年児童の92%が「よいと思う」と回答しました。 2. 保護者の91%が「よいと思う」と回答しました。 3. 教員の91%が「よいと思う」と回答しました。 4. 利用していない小学校のPTA会長および校長の83%が「よいと思う」「実施したい」と回答しました。 <p>また、令和6年度から温水プールに移行する5校とその他地域バランスを考慮した4校において、PTA会長、母親代表、代表町内会長などの代表者で構成する学校評議員に対する説明会を開催し、多くの賛同意見が得られました。全9校の学校評議員50人に対するアンケートでは、86%が「温水プールでの水泳授業を実施した方がよい」と回答しています。</p> <p>これらの結果から、児童の保護者をはじめ多くの方から賛同を得られていると市は結論付けています。</p> <p>その他、地元市民の代表である一色地区の代表町内会長に対して、旧一色役場本庁舎の跡地利用について、新たな温水プールの建設が最適と考えていることを令和5年度に伝えていきます。</p> <p>また、一色地区をはじめ市内全域から抽出した市民を対象とし、建設場所、施設規模、施設機能などについてお聞きするアンケートが、令和6年度に行われる予定です。</p> <p>ただし、今まで行われたアンケートでは、長期的にかかる費用負担などが明確に示されているとは言えませんので、市民の皆様からのご意見をいただきながら、健全な財政計画が立てられるよう注視してまいります。</p> <p>「その他の代替案は」「プール建設以外も考えられないか」については、既存学校プールの更新よりも財政負担の少ない方法として、新施設を建設した上で温水プールへ集約する方向性を市は示しています。個別の議員からも代替案が提案されたことはありますが、市全体の方針としては変更に至っていません。今後も皆さまのご意見を大切にしながら、様々な視点から事業の進捗にあたり提言をしてまいります。</p>	文教交流

「議会報告会2024」 質疑・意見一覧

整理番号	質疑・意見	回答	委員会
14	環境について。 新しいごみ処理施設を建設することも大切だと思いますが、ごみの減量化に対する施策の方が必要性を感じます。生ごみは別の収集をするなどの対策は？	ごみ焼却施設の建設は、国や県の策定した広域化計画にそって関係市町で協議を重ねて進めてきた事業となっています。 ごみ減量化の必要性につきましては、担当するごみ減量課に確認したところ、大変重要な施策と位置づけ、これまでも様々な取り組みをしているとのこと。具体的にはごみ問題を考える市民会議から提案のあった「市民が取り組みやすい生ごみの減量方法」に取り組んだり、クリーンセンター内でコンポストとぼかしを活用した実証実験を行い、その状況を西尾市の公式ホームページで紹介したり、食品ロス削減協力店も公式ホームページに掲載して活動の周知とともに、市民及び事業者への意識の啓発をしたりしています。 市議会としても、こうした取組を推進するとともに、いかにしたら焼却施設の延命やコスト削減につながる効率的な生ごみ減量を実現できるかを探求していきたいと考えています。	厚生環境
15	まちづくりについて。 にしがま線利用促進大会の小・中・高生の意見は目を見張るもので、特に「西尾維新」作家の作品を専用車両として走らせるアイデアは他県での成功例です。今後参考にされることはないでしょうか？	利用促進大会で発表された「アニメとのコラボ」の企画は、単に提案にとどまらず、先進例や経済効果も示した素晴らしいものでした。市では名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会を核として、復刻塗装列車の運行やにしがまシーサイドウォークといった利用促進を行っています。「アニメとのコラボ」の企画は、特に若年層の誘客・乗車促進に有効である反面、著作使用等に多額の費用を要する場合もあり、またアニメの選定は趣向に配慮する必要があります。	経済建設
16	にしおマラソンでのボランティアさんの意見などは今後の運営に活用していただきたいです。	にしおマラソンに関するご意見、ありがとうございます。ボランティアの皆様の貴重なご意見は、今後の運営改善に大いに役立つと考えております。委員会としても、フィードバックを積極的に収集し、次回の大会に反映できるよう取り組んでおります。今後も、ボランティアの皆さまの声を大切にしながら、西尾マラソンをより良いイベントにしていくために努力してまいりますので、引き続き、ご協力をお願いします。	文教交流
17	まちづくりについて。 西尾駅東駅前広場駐輪場を2階建て駐輪場にする事は、止めることのできる台数も増え、利用しやすくなるので、ぜひやってほしいです。しかし工事中は、現在ある駅東駐輪場は使えないのでしょうか？もし使えないのなら、代わりとなる場所はあるのでしょうか？	西尾駅東駅前広場の整備に関して、駐輪車台数を増やすため、2階建ての駐輪場設置のご提案ですが、現在の屋根付き駐輪場の老朽化が著しいこと、広場全体の空間を現状以上に確保したいこともあり、駐輪場の再整備を検討するうえで、駐輪場の必要性、設置場所、2階建てを含めて調整しています。 また、工事期間中に現在の駐輪場が使用できなくなる場合は、なるべく駅に隣接する場所で確保したいと考えています。	経済建設

「議会報告会2024」 質疑・意見一覧

整理番号	質疑・意見	回答	委員会
18	<p>にしがま線利用促進対策について。 幡豆地区にテーマパークを作るのはどうでしょうか？例えば、ジブリパークがあるように、スーパーマリオパークや鳥山明アラレちゃんパークなどを考えてみては？そうすると、名鉄電車の利用アップと地域活性化になると思います。</p>	<p>鉄道の維持存続は、公共交通対策のみの問題にあらず、まちづくりの問題としても捉えなければなりません。ご提案をいただいた幡豆地区にテーマパークをはじめ、商業・観光施設や大学などの誘致は、確かに名鉄西尾・蒲郡線の利用促進につながると思います。これらの誘致にはクリアすべき課題もまた多く、かつ波及効果も持続可能なものとしなければなりません、今後のまちづくりを考えるうえで、いただいたご提案も出てくると思います。</p>	経済建設
19	<p>議会報告会の内容・進め方について（提案） 報告内容が委員会によっては市（行政サイド）の説明とも思われるまとめ方のようです。ここはまとめ方について一定のフォーマットを作ったらどうでしょうか。厚生環境委員会のスタイルは一つのモデルになるのではと思います。（※委員会としてどのように関与していくのか。年次活動テーマを明確に打ち出すこと。）</p>	<p>今回の議会報告会での各委員会の報告内容は①議案等の審査状況の報告及び各常任委員会でテーマを設定した報告。②持ち時間は10分程度とする。③進め方、資料作成は各委員会に任せる。としました。 ご提案のまとめ方のフォーマット作成について、市民の皆様に議会の活動が理解されるよう、次回の議会報告会開催に向け、運営検討を進める一つのテーマとしてまいります。貴重な提案ありがとうございました。</p>	議会報告会 運営
20	<p>行政視察の効果を確認したい。 委員会ごとにテーマを決めて、行政視察に行った報告をホームページで確認していますが、毎回内容が同じ「今後の検討が必要」で終わっています。多額のコストと時間を費やしているのに、何とか結果を継承していくシステムを考えてもらいたいです。（難しいと思いますが…例：委員会任期の延長、委員会人事の見直し、希望する委員会に配属など）</p>	<p>行政視察のテーマは、委員会ごとに毎年テーマを決め、視察先を選定しています。視察後は、視察報告書を作成し、ホームページへの掲載や市役所、各支所、各図書館に閲覧用として備えています。また、全議員に情報を共有するため「視察報告会」を開催しています。視察の内容を踏まえ、一般質問や委員会・部会等の質疑で先進事例として取り上げています。なお、視察テーマ・視察先選定に当たり、各委員会の過去5年間の視察先一覧を示して、同じテーマ・同じ視察先とならないよう配慮をしています。 他自治体での先進事例を参考に、より良い西尾市を目指し提案することが大切です。各議員の活動を通して、視察内容を生かす活動に心がけてまいります。</p>	議会報告会 運営